

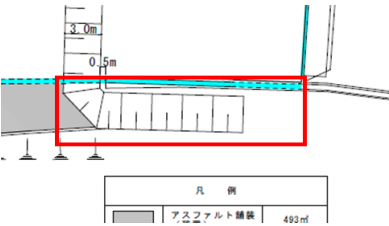
2026年(令和8年)7月6日

質問回答書(沼隈清掃工場解体工事)

福山市経済環境局
環境部環境施設課

No.	質問	回答	回答日
1	当該工事への応募検討にあたり、工事原価算定の参考とさせていただきたく、現地見学を希望いたします。ご対応いただける場合は申込方法をご教授ください。	現地見学を希望する場合は、6/15(月)~6/19(金)の午前と午後の1回ずつの枠で日程調整しますので、環境施設課へ電話又は電子メールによりご連絡ください。なお、見学日の調整は先着順とします。	6/11
2	屋根(軒樋)オリエンタルメタル(石綿含有)の寸法はどれくらいのものでしょうか?	提示可能な資料はありません。	6/24
3	土壌の入れ替え範囲は図面番号7では、1293㎡となっており、現場説明書の21ページでは、土壌の入れ替え1293㎡となっています。入れ替え土壌は、厚みを1m見込んでいるという事でしょうか?	お見込みのとおりです。	6/24
4	入札時の工事費内訳書は、工事設計書の内容で良いでしょうか?	工事費内訳書は、当該工事費設計書(各号内訳書を含む)に記載されている内容をすべて記載し、次の事項を追加記載した内訳書を提出してください。なお、追加事項の記載例については、別添「(例)工事費内訳書(建築)」をご確認ください。 (1)材料費 (2)労務費 (3)建退共制度の掛金 (4)工事原価のうち現場労働者の法定福利費の事業主負担額 (5)工事原価のうち安全衛生経費	6/24
5	当該工事の最低制限価格の算出にあたって、当該工事設計書に記載されている「スクラップ控除」は算定式のどこに反映すれば良いのでしょうか?	直接工事費に反映してください。	6/30

6	特記仕様書 p3	隣接する沼隈斎場駐車場部分の上水配管撤去後の処置は、埋戻後、舗装復旧までとするのでしょうか。	お見込みのとおりです。	7/6
7	特記仕様書 表14及び図面番号7「土壌入替範囲」	特記仕様書の表14「では、土壌入替数量1,293m ² 。図面番号7では、土壌入替範囲1,293m ² となっています。土壌入替深さは1mで、土壌入替数量は、1,293m ² × 1.0m=1,293m ³ と考えてよろしいでしょうか？ また、入替範囲は路盤碎石下からの深さもしくは舗装天端からの深さでしょうか。	土壌入替数量については、お見込みのとおりです。土壌入替範囲は、舗装天端からの深さを想定しております。	7/6
8	特記仕様書表5 数量集計表	数量集計表の煙突の耐火レンガ26.6m ³ は、特記仕様書表5の煙突の断熱材を指しており、アスベスト非含有と考えてよろしいでしょうか。	煙突の耐火レンガは断熱材とは異なり、煙突上部躯体を指します。(参考数量表P.13参照) 耐火レンガはアスベスト非含有です。	7/6
9	特記仕様書 p18 数量集計表 図面番号8	アスファルト及びコンクリート舗装下の路盤材を全て撤去とありますが、その廃棄物量を把握の為、路盤厚をお示し願います。また、数量集計表よりコンクリート舗装撤去が198.5m ² と読み取れる一方、図面番号8では162m ² の進入路コンクリート舗装が残置されることとなっています。数量集計表は参考のため、進入路コンクリート舗装は残置と考えてよろしいでしょうか。	路盤厚について、お示できる資料はありません。進入路コンクリート舗装は残置です。	7/6
10	数量集計表と石綿含有建材有無に関する事前調査結果報告書	数量集計表に機械設備耐火レンガ80m ³ とあります。石綿含有建材有無に関する事前調査結果報告書では、焼却炉内キャストブル、耐熱ボードがみなしで、レベル2になっており、その総数が80m ³ であると考えてよろしいでしょうか。また、別物である場合、キャストブルと耐熱ボードの数量をご指示ください。	耐火レンガと焼却炉内キャストブルおよび耐熱ボードは別物です。キャストブルと耐熱ボードの数量はお示しできる資料はありません。	7/6
11	特記仕様書 p3	受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等による工種についてダイオキシン類含有汚染土の入れ替え作業については、特殊工事であるため除外と考えてよろしいでしょうか。	除外ではありません。	7/6

12	特記仕様書 p37 整地	ごみピット部撤去後の山側成形仕上に指定はありますでしょうか 現況地盤高までの埋戻しを行えば受注者の任意と考えてよろしいでしょうか。	現況地盤高まで購入土で埋戻しを行ってください。仕上形状は、図面番号8と同等以上を想定しています。	7/6
13	特記仕様書 p5	交通誘導員について 工事車両の出入口において搬出入のある期間は常駐させることと記載がありますが、通勤車両を含め仮設材の搬出入など少数台の場合は非常駐としてもよろしいでしょうか。	可とします。	7/6
14	特記仕様書 p6	除染作業を行う作業員等について血中ダイオキシン類濃度の測定する事と記載がありますが、全作業員を対象の必須とするのでしょうか。表5測定計画書(参考)にあるように無作為な3名でよろしいでしょうか。	第3管理区域の高濃度ダイオキシン類の付着物除去を担当するなど、リスクの高い除染作業を行う作業員及びその他安全管理上必要と考えられる者について、該当する全員を対象とします。	7/6
15	特記仕様書 p6	敷地内での喫煙は禁止と記載がありますが、作業場以外で室内に喫煙室を設けた場合は可能でしょうか。	可とします。	7/6
16	特記仕様書 p15	表5アスベスト分析調査結果において焼却棟外壁仕上塗材RC部は、分析で非含有としていますが、参考数量表図面においてみなしで含有となっています。どちらを正としたらよろしいでしょうか	焼却棟外壁仕上塗材RC部のアスベストは非含有を正としてください。	7/6
17	図面番号8	図面番号8の側溝南側部分はアスファルト又はコンクリート舗装されてこと現地にて確認できました(下記赤枠箇所)。こちらの舗装は残置と考えてよろしいでしょうか。またその場合、舗装残置の箇所は土壌入替範囲に含まれていませんが、赤枠箇所も土壌入替範囲の対象外と考えてよろしいでしょうか。 	残置ではなく、撤去し、盛土等で整地することとしており、土壌入替範囲の対象としております。	7/6

18	図面番号8	門扉は残置することとなっておりますが、重機等車両の進入に支障があるため撤去してよろしいでしょうか。また、復旧が必要な場合は、単管パイプ等による簡易な侵入防止対策としてよろしいでしょうか	撤去は可とします。復旧は、現状復帰を基本としますが、困難な場合は、門扉撤去前に図面等で復旧案を提出し、協議してください。	7/6
19	特記仕様書 p18	旧ごみ焼却施設2炉の地下構造物撤去について試掘調査を実施し有無の確認をおこないますが、数量集計表で200m3と想定されている規模に対しオープンカットによる解体で可能な範囲を本工事内と考えます。形状によっては山留や地下水処理、埋戻土量の大幅増が想定されます。その場合は変更協議対象としてもらうことは可能でしょうか。	変更協議の対象外です。	7/6
20	その他	地下解体及び掘削時において想定外の地中埋設構造物及び埋設廃棄物、汚染土壌等が発見された場合は、変更協議対象としてもらうことは可能でしょうか	変更協議の対象外です。	7/6
21	その他	重機等車両の搬入搬出時の障害となる場合は公道からの進入路山側の植栽の撤去は可能でしょうか。	地権者の承諾があれば可とします。	7/6
22	その他	西側、民間葬祭会館、福山市斎場に関して作業制限、通行制限等がありますでしょうか。	契約後、地元説明会にて協議決定します。	7/6
23	その他	西側公道に面した公園は仮設事務所、駐車場等の用途で借上げは可能でしょうか。可能な場合、賃料等条件をご教示ください。	借上げの可否及び賃料等条件は本市関連部署へ協議してください。	7/6

24		<p>特記仕様書P23(2)各種調査結果報告書の表15各種測定計画(参考)に施工前・付着物・ダイオキシン類・事前調査・4検体とありません。これは未調査(第3管理区域)から4検体採取でよろしいでしょうか？</p>	<p>表3 汚染物サンプリング調査結果に示す調査済の3ng-TEQ/g超過箇所(4検体)の再分析を想定しております。未調査箇所(第3管理区域想定)については別途採取を計画願います。</p>	7/6
25	<p>数量集計表と図面番号3 現況舗装平面図 及び図面番号8</p>	<p>舗装面積と舗装厚みについて数量集計表では舗装コンクリートが、198.5m³ 現況舗装平面図では、コンクリート舗装が198.5m²となっています。 コンクリート舗装が198.5m²を正としてよろしいでしょうか？ その場合、コンクリート舗装とアスファルト舗装の厚みを、ご指示ください。又解体後平面図進入路コンクリート舗装は残置となっておりますが、残置でよろしいでしょうか？</p>	<p>コンクリート舗装は198.5m²を正としてください。舗装厚について、お示しできる資料はありません。進入路コンクリート舗装は残置です。</p>	7/6
26	<p>特記仕様書p37 整地工事</p>	<p>・ごみピット部撤去後の山側成形仕上はどうしたらよいですか？ ・①埋戻し(現況地盤高まで)は現傾斜、段差で良いですか？ ・土壌入替時、旧焼却炉基礎以外の構造物、埋設物があった場合別途協議対象でよろしいでしょうか？</p>	<p>・現況地盤高まで購入土で埋戻しを行ってください。仕上形状は、図面番号8と同等以上を想定しています。 ・埋戻しは図面番号8を参照とし、緩やかな傾斜を想定しています。 ・協議対象外です。</p>	7/6

工事費内訳書

福山市長様

本記入例は、本工事費のみの工事として示した一例です。附帯工事費等がある工事は、仕様書等に基づき、誤りのないように記入してください。

入札年月日 年 月 日

住所

商号又は名称

印

代表者名

建築工事の例を示していますが、設備工事についても、これに準ずること。

(電子入札者は押印不要)

工事名	〇〇〇〇〇建設工事	← 工事名に誤りがないこと。	大集計表
工事場所	福山市〇〇町〇〇		

工事費内訳

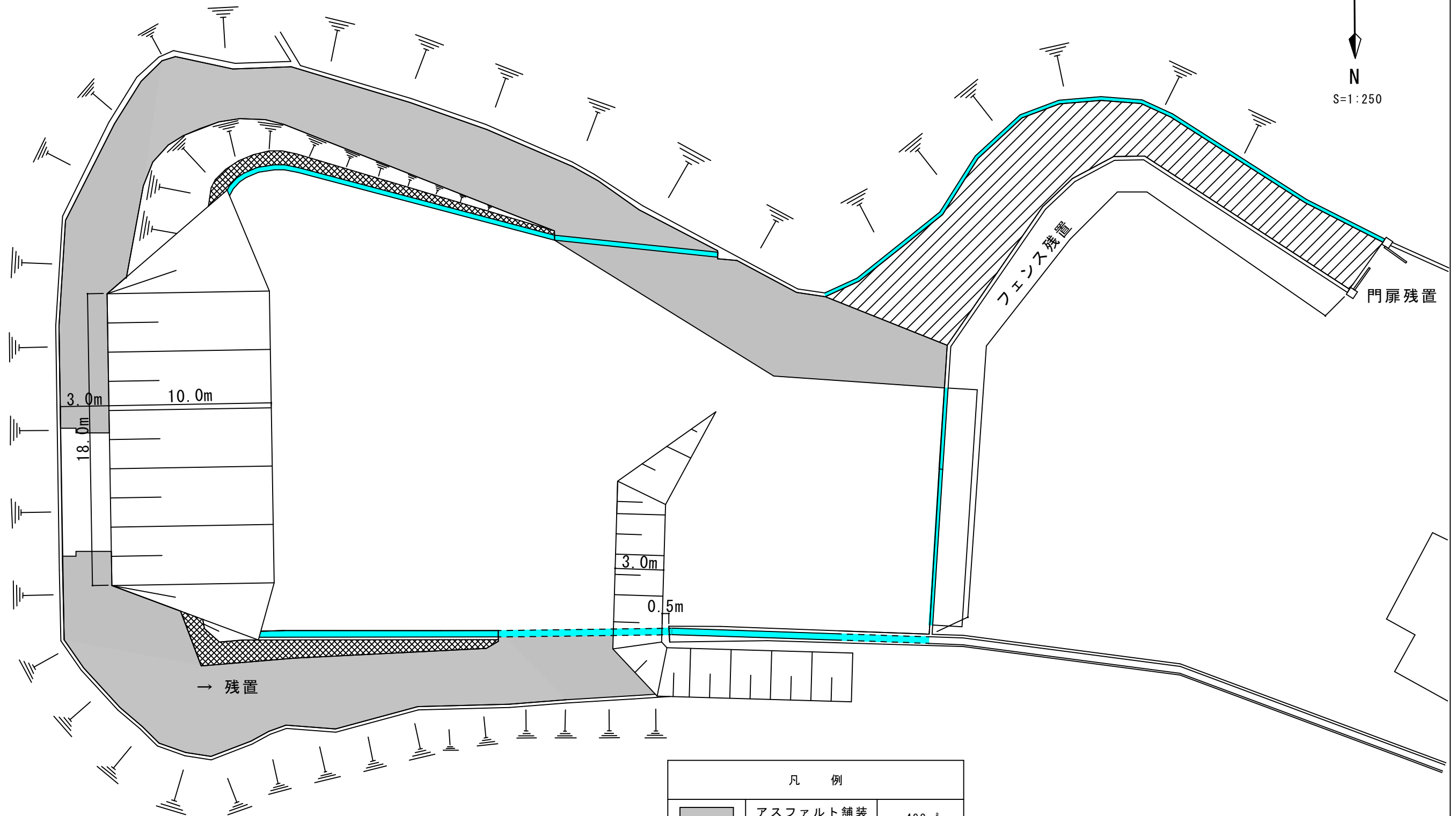
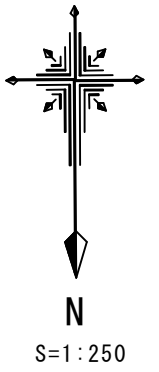
名称・規格	数量	単位	単価	金額	摘要
A) 直接工事費				30,000,000	
1. 直接工事費	1	式		30,000,000	
うち材料費	1	式			
うち労務費	1	式			
B) 共通費				4,000,000	
1. 共通仮設費	1	式		1,500,000	
2. 現場管理費	1	式		2,000,000	
うち建退共制度の掛金	1	式			
工事原価のうち現場労働者の法定福利費の事業主負担額	1	式			
工事原価のうち安全衛生経費	1	式			
3. 一般管理費等	1	式		500,000	
工事価格(税抜き)				34,000,000	
					入札価格と同額であること。
※本様式は参考様式であり、同様の内容が記載されていれば、他の様式で提出することも可能です。ただし、発注者が内容を確認できるファイル形式(Word, Excel, PDF等)としてください。					
(注)直接工事費より下の工事費内訳(諸経費)については、工事の種類による各積算体系に基づいて記入してください。					

耐火レンガ

場所		工種	数量	単位	計算	備考
煙突	上部躯体	耐火レンガ	27	m3	$\frac{1}{3} \times 3.14 \times$ $31.000 \times (1.275^2 + 1.275 \times 0.70 + 0.70^2) -$ $\frac{1}{3} \times 3.14 \times$ $31.000 \times (1.125^2 + 1.125 \times 0.550 + 0.550^2)$	⑤ $\frac{1}{3} \pi h (a^2 + ab + b^2)$ a,bはそれぞれ円錐台の両端の半径

※記載の数量は「参考数量」のため、設計変更の対象とはしない。

解体後平面図



凡 例		
	アスファルト舗装 (残置)	493㎡
	コンクリート舗装 (残置)	162㎡
	側 溝 (残置)	36㎡
	擁 壁 (残置)	36㎡

※建屋跡地は土(購入土)にて整地

工事名	沼隈清掃工場解体工事		
図名	解体後平面図		
図面番号	8	縮尺	A3 1:250
福 山 市			

表3 汚染物サンプリング調査結果

分析結果（焼却灰及び付着物）

	調査対象箇所	サンプリング対象	ダイオキシン類 分析結果 (単位:ng-TEQ/g)	重金属類													
				溶出試験 分析結果(単位:mg/L)							含有試験 分析結果(単位:mg/kg)						
				アルキル水銀化合物	水銀又はその化合物	カドミウム又はその化合物	鉛又はその化合物	六価クロム化合物	砒素又はその化合物	セレン又はその化合物	アルキル水銀	水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	砒素	セレン
1	焼却炉本体	炉内焼却灰	0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.73	33.3	ND	2.6	ND
	焼却炉本体	炉壁付着物	0.0000063	ND	ND	ND	ND	0.4	ND	ND	ND	0.01	1.21	130	5	3.6	ND
2	電気集じん機	装置内堆積物	7.0	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	0.04	17.7	1490	ND	11.8	0.7
	電気集じん機	装置壁面等付着物	20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	6.45	548	ND	8.9	0.5
3	煙道・煙突	煙突下部付着物	50	ND	ND	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	17.7	14.5	463	ND	17.5	5.1
4	灰出フライトコンベヤ	設備内付着物	0.064	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	ND	0.01	1.52	117	ND	4.4	ND
5	灰出パンカ	設備内付着物	0.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	8.23	188	ND	7.0	ND
7	飛灰ホッパ・混練機	設備内付着物	120	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.75	15.6	798	ND	23.9	0.9
定量下限値			-	0.0005	0.0005	0.009	0.03	0.1	0.03	0.03	0.01	0.01	0.05	0.2	2	0.2	0.5
基準値			3以下	検出されないこと	0.005以下	0.09以下	0.3以下	1.5以下	0.3以下	0.3以下	-	-	-	-	-	-	-

備考 ND：定量下限値未満を示す。

基準値：「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和48年総理府令第5号）

網掛けの箇所は基準値超過を示す。

分析結果（排水）

	調査対象箇所	サンプリング対象	ダイオキシン類 分析結果 (単位:pg-TEQ/L)	重金属類						
				分析結果(単位:mg/L)						
				アルキル水銀化合物	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	カドミウム及びその化合物	鉛及びその化合物	六価クロム化合物	砒素及びその化合物	セレン及びその化合物
6	排水処理設備	排水	0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
定量下限値			-	0.0005	0.0005	0.001	0.005	0.02	0.005	0.002
基準値			10	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	0.5	0.1	0.1

備考 ND：定量下限値未満を示す。

基準値：ダイオキシン類 「ダイオキシン類対策特別措置法施行規則」（平成11年総理府令第67号）

重金属類 「排水基準を定める省令」（昭和46年総理府令第35号）